



中村俊定文庫
文庫 18
1007



ゆつていり一首と不二と田子とをいへ
合ふ筈ありしとちなきはあけしはさぬ
ゆつていり一首と不二と田子とをいへ

玄妙の切

あつしと日(あつし)の(あつし)は(あつし)の(あつし)

まの切字とお野となくしと一とたはよ
ゆつていり一首と不二と田子とをいへ

大まは

あつしと日(あつし)の(あつし)は(あつし)の(あつし)

まの切字とお野となくしと一とたはよ
ゆつていり一首と不二と田子とをいへ

あつしと日(あつし)の(あつし)は(あつし)の(あつし)

まの切

あつしと日(あつし)の(あつし)は(あつし)の(あつし)

あつしと日(あつし)の(あつし)は(あつし)の(あつし)
あつしと日(あつし)の(あつし)は(あつし)の(あつし)
あつしと日(あつし)の(あつし)は(あつし)の(あつし)

あつしと日(あつし)の(あつし)は(あつし)の(あつし)

あつしと日(あつし)の(あつし)は(あつし)の(あつし)
あつしと日(あつし)の(あつし)は(あつし)の(あつし)
あつしと日(あつし)の(あつし)は(あつし)の(あつし)

あつしと日(あつし)の(あつし)は(あつし)の(あつし)

下の句の塩物なりしこしらの句は切らりし
相對するゆへはちよのあまのあまのあまの
爰句ハ一句をあたふ切字と入て一句と二句
よりなるし彼中の傳ハ相對させんぬく
平句ハ切字と揚つてけ通れと知れし
定しする切字下無しし急げせぬれ
の仮名切字はあまのけ假名の留しんぬ
けり希に切るゆへありたりしと云ふ
さへせちしとあまのちしめ果ぬけぬけ能
く味く

五脚

元夏乃花乃まきり夏の縁
さるる鳥のまは海川
こと井流の階しよ世の常よと脚くし
も夏畑の縁は笑ふる小ねのまをる橋し
る水橋のしよとよまのまのまのまの
爰句のまをるまのまのまのまのまの
海川と畑のまのまのまのまのまの
まのまのまのまのまのまのまの
まのまのまのまのまのまのまの

しとお背の格とて格はしむる編く粒は
帯極果のまもこまはよき高なる染しとて
海に女法とあり候はしむるに日目の
ありしるるふの安とありし

しとお背の格とて格はしむる編く粒は

帯極果のまもこまはよき高なる染しとて

しとお背の格とて格はしむる編く粒は
帯極果のまもこまはよき高なる染しとて
海に女法とあり候はしむるに日目の
ありしるるふの安とありし

帯極果のまもこまはよき高なる染しとて

海に女法とあり候はしむるに日目の

ありしるるふの安とありし
しとお背の格とて格はしむる編く粒は
帯極果のまもこまはよき高なる染しとて

海に女法とあり候はしむるに日目の

ありしるるふの安とありし

しとお背の格とて格はしむる編く粒は
帯極果のまもこまはよき高なる染しとて
海に女法とあり候はしむるに日目の
ありしるるふの安とありし

才なる梅ノ十句

其の末七下は名ある部

こし平句あしぬ一句のありことあしぬ一愛句の
十の位才七の位脇はみ今の位とあしぬ

梅咲し一厨の草履静なり

是も新字の片之は等一一句のありは
一く一厨は梅咲し静なりとあしぬ一一句のありは
あしぬ一厨は梅咲し静なりとあしぬ一一句のありは
表八句の神道のつら侍道の八相八卦と
しる俗よりあしぬの客脇はまると才三の相傳

人記句目ハ料理人のつらくと酒の持物とと
名数はあるは詩は記清持合とつらとはと
句と起し一編し法し才とは起するものと
片一ししを回句めはつらくと合とあしぬ一
物も天竺人のこ枝也八の物の数の始め
あしぬ一はつらと玉款十句一の句は起し
み句目ハ句目よりあしぬ一と起し一と起し
之よりつらと一と起しつらと六句め七句目八句
目九句一と起し一と起しつらと十句
するとつらと一と起し神流 新教 志 之 始

天相

ほき合ハ皆上ニ春

さうさうと丸方

まじり白くはくはく

星塔の凡そはくはく

音はくはく

親相

何となくはくはく

花はくはく

何となくはくはく

さうさうと丸方
星塔の凡そはくはく
音はくはく

時

さうさうと丸方

花はくはく

何となくはくはく
星塔の凡そはくはく
音はくはく

時

さうさうと丸方

さしつかへなきにすゝの月よ、あはれむし
るゝぬあふとくく月よ、入し茶とえ出れ
こし骨の遊し

右よまの初は内子の六其の骨の初を
内茶の波と人詩し

意向之詩

初詩

くたふしめい輝のあはれ

よとくしとくあはれとくあし初

けふふちくと初とくしあはれ初

あはれとく人くくくくくくくくくく
あはれとくく

別紙

あはれとくくくくくくくくくく

あはれとくくくくくくくくくく

あはれとくくくくくくくくくく
あはれとくくくくくくくくくく

侍紙

あはれとくくくくくくくくくく

あはれとくくくくくくくくくく

川つる年一の境い

お持せり入寄つて境いあきつてつと戻
あきほくのほつととあきつてつと戻
もあきつてお持せり境いあきつてつと戻
もあきつてお持せり境いあきつてつと戻
もあきつてお持せり境いあきつてつと戻
もあきつてお持せり境いあきつてつと戻

下の句にゆる

おららるるは世光りるんや
じつとの雄とあめの中へんや
大蛇見申ゆるくゆる押字くらよはあじふと

あきつて

治定よし

山屋入秋ハ胡喰ん彼味喰ん
年玉とあきつてゆるゆる
ゆるゆる道の極意ハ悟りあき
ゆるゆるゆるゆるゆるゆるゆるゆる
ゆるゆるゆるゆるゆるゆるゆるゆる
ゆるゆるゆるゆるゆるゆるゆるゆる

あきつてゆる

又うきさるる言う打

古今集懐かし後撰は筆と保

まじり言たりとらひるいし

まじり言波

まじり言とらひるいし

まじり言とらひるいし

まじり言とらひるいし

まじり言波

まじり言とらひるいし

まじり言とらひるいし

玉子解と川のゆきと

こころのふか

こころのふか

こころのふか

こころのふか

こころのふか

こころのふか

こころのふか

こころのふか

こころのふか

追言の爲る事よりゆるうしむ鬼火扱ふ歌と
く林下より他へなぬの句は

唯火とまきゆる後入にゆるる

け句乃火へけ方乃流のたふゆるしと死る人
乃人よあしに志しけ等乃るもハ初人のま
もしとるし

首途 祝言 祈禱 奉納 新宅
之 腹 夢想

け俳語よハふる世懐・旧と歩や不吉入句ハ
忘へ禁句句句傷く時云人比辰火事軍

比儀のけはり下し奉納夢巻ハ俳語流れ
人夢と云字と嬉ハ昨ハ数多し推し志

こほし月

台伝乃俳語ハ昔ハ今日新ありけハ又句目ハ
嬉の元中の句ともし十六句ある月とせし
るしあやしししりいんあし十六句ある人
初乃力味とやしハボの下の句としあやし
二句ハしは月とあしし

笑ひししし九条あしあ草のま
人ろししし月とあしし

つと既して秋の先中の旅りよ

日待旅のよちちりよ

けは定まらぬ

かこののちりよ

きとりしきりよ

け帰ししちりよ

ちりよと千に日待

しきりのちりよ

白化八月

花は白きよ

もしてはちりよ
ハ口待ちりよ

四季子句数の

も秋は臨場りよ
凡雅の中一ちりよ
夏又ハ臨場りよ
と句まらぬ

雪郭と月の句まらぬ
芳歌りよ
冬と月の句まらぬ

十句目正の定花と極つたるはよ老か
清しむる月とよ花共句り下め句は
下り月正の定花と又句りと定花と
花と句り月と句り月と句り月と
定花と句り月と句り月と句り月と
清と字と句り月と

引揚を定花より花と句り月と句り
月も句り月と句り月と句り月と
月と句り月と句り月と句り月と

おちる花と句り月と句り月と句り月と
一揚句と物り花と句り月と句り月と
花と句り月と句り月と句り月と
句と句り月と句り月と句り月と
意句二句續の法場和合す句り月と
句り月と句り月と句り月と句り月と
作る句り月と句り月と句り月と句り月と
句り月と句り月と句り月と句り月と
句り月と句り月と句り月と句り月と

枕筆

懐紙の書すべし

上より下へは清み下より上へは濁り
一は清し一は濁り下より上へは濁り
清し濁り下より上へは濁り
清し濁り下より上へは濁り

養天入 彼岸 出代 弟句

秋の夕暮の光を
つらと見れば
秋の夕暮の光を
つらと見れば
秋の夕暮の光を
つらと見れば

久し

川神の踏方

舟の神

舟の神

舟の神
舟の神
舟の神
舟の神
舟の神
舟の神
舟の神
舟の神
舟の神
舟の神

賦何字 上賦とよ

ちくまをいりわが清の花は

傳何ハ後句乃花と云て花と云ふ

賦金何 下御とよ

山嶽と云ふと云と云一語

傳と云山と云たると云山ハ何と

賦ニ字下略

後念と云と云と云人初語

傳ハ何ハ二字ハ下と略し傳と云と

賦一字添討

苗代并と云し長と云の語ハ

傳代ハ一字ハ符と云の中ハ一字添討と云

賦一字添討

木指と云ハいさる孫養

傳奠ハ何と云し系と云と云

賦ニ字中略

不レと云と云と云と云と云

傳後と中略しと云と云と云

賦一字添討

夏の東ハ故語凡ハ何と云

傳教之書と分取せしむ

木式表十句

賦金 能得之連歌

陽春の歌やまをさるる如く何 春合

歌子乃戀よるを賦乃得 春合

雪乃舟子ハいづれにけり 春合

昔も合志し風吹やせ 吹合

と清やむいふ人の足中を 橋合

つらつと棒とたし物なり 合橋

下樋よ下知しをまはるは橋 合樋

山之空にぬぬるる 山合

高乃月扇風は照る 合扇

義一細る秋乃物也 合義

十句乃表平式之十句 配乃賦乃得

同字名取と六句 中合

一日十句ハ春三句 夏二句 秋三句

冬二句

月雪花のふりては花は煙 あり

賦何力能得と得作書 一は賦乃得

神道 なり

湯子ハ船一紙物ハ時ハ一産乃能流
漁子ナリ一之團凡ハ六乃能流ナリ紙物
何リ貞流流ハ船一

十句ナ式ハ名ハ百納ハ六裏ハ八句ト六句
ナリ

夏想ハ下ハ句ハナリハ六句ハ七句
ナリ

紙物連ガハ六句ハナリハ六句ハ七句
ナリハ六句ハ七句ハ八句ハ九句ハ
十句ハ十一句ハ十二句ハ十三句ハ
十四句ハ十五句ハ十六句ハ十七句ハ
十八句ハ十九句ハ二十句ハ

能得之連紙ト又文字ハ書ハ口信ト
紙物ト云紙物ト書ハ口信ト事ト云
信紙ハ口ト事ト月日ト事ト云
具ハト書ト信ト云

こつろ一信

あ	あ	あ	あ
い	い	い	い
う	う	う	う
え	え	え	え
お	お	お	お
か	か	か	か
き	き	き	き
く	く	く	く
け	け	け	け
こ	こ	こ	こ

現在

未来

ナ

三二

ち	ち	ち
を	を	を
ら	ら	ら
ら	ら	ら
ら	ら	ら
ら	ら	ら

三二

巴
論
記



